

アーティストの活動内容

子育てサークル・こども園等へのアウトリーチ

子育てサークル等を対象とした0歳から親子で参加できるプログラムや、こども園等での乳幼児向けの活動を行っています。
子育てサークル等では、手遊び歌で参加できるコーナーも設けて親子と一緒に楽しめる内容を用意しています。こども園等では、子どもたちがのびのびと楽しく文化芸術に触れ、またアーティストと関わることで新たな発見が得られるような音楽・造形などの体験プログラムを登録アーティストと企画・実施しています。



小・中学校へのアウトリーチ

小・中学生を対象に、学校やクラス、子どもたちのようすに合わせてプログラムを企画・実施しています。
先生との打ち合わせを経て、プログラムがクラス全体や子ども自身にとってどんな場になるかを多角的に考えます。令和4年度は一般的な正答のない芸術だからこそできる「どんな音が鳴らせるだろう」というところに着目した楽器遊びや、形を押しながらイメージを広げていく染色ワークショップ等を実施しました。
実施後にはふりかえりを行い、プログラムの進行や子どもたちの様子について、先生の視点からのフィードバックをいただきます。



子ども食堂へのアウトリーチ

子ども食堂でのワークショップでは、アートを通じて子ども食堂の「居場所としての機能」を高めることをめざして、アーティストと子どもたち、そして食堂に関わる方々とのコミュニケーションを深める場づくりに取り組んでいます。
染物や鉄琴づくり等、その日限りの特別体験を実施したり、音楽ワークショップを通してひとつの食堂に同じアーティストが年間関わることで、子どもたちの成長や変化に立ち会ったりしています。



市民イベントへの出演／講師依頼

事例紹介

- 市役所・区役所でのコンサート出演
- 子ども向け 造形ワークショップ 講師（フェニーチェ堺など）
- 子育てサークルでのコンサート 出演 など



実践研修プログラムとは

堺市新進アーティストバンク音楽部門の登録者を対象に、地域や社会とつながり、様々な趣旨・対象のコンサートを企画運営できるアーティストの育成をめざして実施される研修事業です。
与えられた課題に沿ってコンサートを企画し、専門家からのアドバイスを受けながら準備・運営・出演するなかで、アーティストとして必要なスキルを学びます。

基礎研修（令和4年度）

企画書書き方講座

財団職員が講師となり、「企画書作成」を1から学ぶ講座を開講しました。
企画書の読み手が納得する企画書の書き方のポイントを紹介したほか、参加者が事前課題で作成した企画書についても個別にアドバイスをを行いました。企画書の読み手の立場に立つて書くことの大切さと、伝え方の工夫を学べたとともに、他の参加者の企画書を見ることで多くの気づきが得られた講座となりました。

アウトリーチ基礎講座

アートの場でもよく聞かれるようになった“アウトリーチ”ですが、その定義は非常にあいまいで、現場に携わっている方々でさえ、“アウトリーチ”から連想することは様々です。そこで、演奏者としてさまざまな現場で活動されている安達梨紗さんを講師としてお迎えし、多様な事例を紹介していただきました。
また、アウトリーチとワークショップの手法の違いを比較することで、それぞれのイメージがより明確になりました。

MCがもっと上手になる！話し方講座

講師は声楽家の谷田奈央さん。文化庁学校公演の司会等でも活躍されています。
対象にわかりやすく「伝える」話し方を意識し、原稿を読むのではなく、「話す」「語る」というMCの役割や、「さて」「では」でない、次の演奏への運び方等、リアルな現場を想定した話し方を学びました。
「保育園で3～6歳の子どもたち」「老人福祉施設で高齢者」の設定で、行き先に合わせた自己紹介・曲紹介を受講者で考えるコーナーもあり、実践も交えた講座となりました。

